

■司会 浜田 満明<島根県> 島根県教育庁生涯学習課課長補佐
 佐藤かがり<福岡県> 福岡県教育委員会社会教育課社会教育係

1. 全日本きんま選手権大会 —木馬レースの成果と課題— 14:15~14:40

久木原 章次<福岡県> 上陽町教育委員会社会教育係長

「出会い、ふれあい、めぐり逢い、愛しようわが町〜じょうよう祭り」のメインイベントとして「木馬(きんま)レース」が行われる。昔から木材を運搬するために使用していた木製のそり「木馬」に400kgの俵を積み、42.195kmのタイムを競うレースである。参加チーム、観客ともに増え続け、町を挙げて実施している本大会の成果と課題、今後の展望について発表する。

2. 生涯スポーツ推進によるまちづくり 14:40~15:05

—グラウンドゴルフ発祥地の取り組み—

山田 学<鳥取県> 泊村教育委員会事務局主事

昭和57年に生涯スポーツ活動推進事業の一環として研究開発が行われ、15年の間にグラウンドゴルフは全国に広がり、日本協会会員数約8万人、愛好者の数は100万人を超えるまでになった。また、全国からの選手を村民をあげて歓迎する発祥地大会も今年で10回目を迎える。誰でも気軽に楽しめるグラウンドゴルフが誕生するまでの経過と魅力、グラウンドゴルフが村へ与えた影響、これからの展望について発表する。

～ ティータイム ～

15:05~15:40

3. 「かるた」を契機とした地域交流の現状と展望 15:40~16:05

田中 裕行<大分県> 中津市教育委員会社会教育課社会教育主事

伝統的に「かるた」が盛んな土地柄である。地区公民館を中心に「かるた」に励んできた子どもたちの中の一人が、全国少年少女かるた選手権大会で見事に日本一の栄冠を獲得した。以後4連覇を果たし、現在も楽しみながら地域の人たちと練習に励んでいる。彼女を目標として生き生きと活動している友だちの姿、「かるた」を契機に活性化した公民館、地域の人々の現状と今後の展望について発表する。

4. 手作りの郷土芸能発表会「ザ・ふれあい芸能 in さいはく」のめざすもの 16:05~16:30

仲田 司朗<鳥取県> 西伯町教育委員会主幹兼社会教育係長

廃れつつある郷土伝統芸能と町内で新しく作った芝オケの文化芸能5団体(法勝寺歌舞伎保存会・金山芝居保存会・天津芝オケ研究会・東西町芝オケ研究会・宗家藤間流理萌会)が中心となって、実行委員会を結成。地域伝統芸能を伝承していきこうと毎年11月に、全てボランティアで「ザ・ふれあい芸能 in さいはく」を開催している。これまでの経緯と活動内容、今後の課題・展望について発表を行う。

5. 総括討論 16:30~17:00